

生成AIで挑む、科研費 アイデア出しから研究計画書まで

第1回はアイデアの“産みの苦しみ”を、第2回は様式を“埋める苦しみ”をなくす。全2回・独立受講OK。

第1回 | 7月29日（水）17:30-18:30

アイデア創出編（入門）

すべて無料版でOK・サブスクリプション不要。コードもエディタも不要。生成AI初心者歓迎。

GOAL “産みの苦しみ”をなくす
自分の研究概要.mdを持ち帰る

使うもの：Claude(無料)/Perplexity/NotebookLM/スマホの文字起こし

- 1 **ペアで自分の研究を語る** → スマホで文字起こし → 生成AIで頭の中の言葉を言語化する
書くより話す方が早い。AIへの入力「語り」から作る。
- 2 Claudeに**最先端トピックを10個**提案させ、自分に合う1〜2個を選ぶ
思いつかない切り口を、AIに“数で”出させるのがコツ。
- 3 **Perplexity**で論文・領域トレンドを検索し、鍵になるPDFを2〜3本入手
- 4 **NotebookLM**にPDFを追加して壁打ち → **研究概要.mdを出力して完成**

第2回へつながる

ここで作った**研究概要.md**と集めた**PDF**を、そのまま第2回のサンドボックス（作業フォルダ）に入れて持ってくれば、続きから研究計画書づくりに入れます。

※スマートフォンの持参をお願いします

こんな方へ：次のテーマがまだ固まっていない/生成AIを研究に使ったことがない/アイデアを申請の形に言語化できていない。

第2回 | 8月5日（水）17:30-18:30

研究計画書作成編（実践）

Claude Pro（主催者支給）+Claude Desktop（Coworkモード）。PC持参・ハンズオン。

GOAL “埋める苦しみ”をなくして、考える時間に

生成AIには十分な情報を与える（ハルシネーション対策）・人の役割は情報の引き算

事前準備：サンドボックス（作業フォルダ）に3点

① 基盤Cの**公式Word様式**（docx） ② 第1回で集めた**PDFたち** ③ 自分のアイデアを書いた**Word文書**

- 1 生成AIに**フォルダ内の情報を確認**させる（Word様式・PDF・メモを読み込ませ要約）
- 2 **(4) 何をどのように、どこまで明らかにするか**：3〜5年・年度毎の研究計画をAIと壁打ち
- 3 **(2) 目的および学術的独自性と創造性**：AIに目的案を10個出させて3つに絞る
- 4 **(1) 学術的背景・着想の経緯・「問い」**：背景→着想→これまでの研究→問い（テーマ3つ）
- 5 **(3) 関連分野の研究動向と本研究の位置づけ**：集めた論文PDFをAIに参照させて記述
- 6 概要を「2・3・3・2行の法則」で仕上げる（背景2・現状3・目的3・将来性2）
- 7 **公式Word様式（docx）に流し込み・図表配置 → PDF完成**

番外編（終了後15分）：科研費LaTeX（山中卓氏）も紹介
osksn2.hep.sci.osaka-u.ac.jp/~taku/kakenhiLaTeX/

日時

各回 17:30〜18:30（個別相談は19:00まで） ※第2回は**17:00開場**（セットアップ確認）・終了後に番外編「TeXミニ紹介」約15分 / **Web参加は現在前向きに検討中**（決定次第ご案内）

講師

中島 崇仁（筑波大学 医学医療系）

対象

若手研究・基盤Cなどの科研費に応募する方（来年度の応募予定がなくても、科研費申請の意思があればOK） / **各回30名まで**（先着順）

特典

参加者には**Claude Pro 1ヶ月分（月額約22ドル相当）のライセンス**を主催者が費用負担します（詳細は当日ご案内）。自費で負担いただける方・既にサブスクリプション契約中の方は、定員枠外でも参加できます。

会場：医学医療系483会議室 / 参加申込み・お問い合わせ：tora-seed@gwe.md.tsukuba.ac.jp